

【背景と課題】

オンラインカジノをめぐる問題が深刻な状況

- ・ 違法性の認識: **違法と認識していなかった割合43.5%**
- ・ オンラインカジノ利用: 経験者(推計) **約336.9万人**、58.8%が20代、30代の若年層
- ・ オンラインカジノの利用者の**約60%が依存症の自覚あり**
- ・ 国内における年間賭額の推計: **約1兆2,423億円**
- ・ 日本語で利用可能な40サイトのうち、**いずれも海外のライセンスを取得** 等

【改正案の目的】

- ・ オンラインカジノの利用による依存症への対策の推進

【改正ポイント①(第9条の2)】

- 国内の不特定の者に対する以下の行為を禁止
 - ・ オンラインカジノサイト・アプリの開設運営
 - ・ リーチサイトやSNS等でのオンラインカジノに誘導する情報の発信行為

【改正ポイント②(第14条)】

- オンラインカジノでギャンブルを行うことが禁止されている旨の周知徹底

公布の日から3か月後に施行

【見込まれる効果】

- ・ **オンラインカジノサイトの開設運営行為や、リーチサイト・SNS等での発信行為の減少**
- ・ オンラインカジノに誘導する情報について、**事業者による削除等の適切な対応の促進**
- ・ インターネットホットラインセンターから**プロバイダやサイト管理者等への削除依頼等の促進**
- ・ オンラインカジノサイトのライセンスを発行した**外国政府への働き掛けの後押し**
- ・ オンラインカジノの利用による**依存症の抑止**